

働くこと育てること、 そして今

落合由利子 写真展
スライド & トーク

写真展◎2008/9/9 (火) ~ 9/13日 (土)

9/9 (火) 12時~20時 9/10 (水) 10時~20時

9/11 (木) ~ 9/13日 (土) 10時~17時

スライド&トーク◎9/13 (土)

13時半~15時 会場にて

※のスライド上映中は写真展示をご覧くださいませ。

※乳幼児、お子様連れOK。出入り自由です。

会場：小平市中央公民館ギャラリー

東京都小平市小川町2-1325 西武多摩湖線青梅街道駅より徒歩5分



だれのなかにも物語がつまっている

私が落合由利子さんの著書『働くこと育てること』(草土文化)に出会ったのは、娘が生まれた時でした。

子どもと生活する17人の男女の一日に同行し、その人の生活のリズムに入って記録した写真と文。仕事や生活、子育てのかたちは違うのに、1人1人の悩みや喜びに揺さぶられ、なぜか励まされる。「いいも、悪いもごっちゃにあって『生活』だし、『子育て』だし『働くこと』」という言葉に、胸が内側からぼかぼかあたたかくなったのを覚えています。

『働くこと育てること』の写真展は全国をめぐり、年齢も性別も異なる人たちが、今直面していることや過ぎた日々、そして将来について、言葉を交わし合っていると聞いています。他人の物語に耳をすますことで、出てくる言葉、交わす言葉があり、自分を見つめる時間がある。そんな時間を、この地域でたくさんの方と共有できたらと思います。

落合さんは、自分自身の物語の中でどのように写真と向かい合ってきたのでしょうか？ ルーマニアの山間の村で生活しながら撮影した「CORNEREVA」(1992)から、「はじまり—写し続けた日々」(1995)、「働くこと育てること」(2001)、「絹ばあちゃんと90年の旅—幻の旧満州に生きて」(2005)まで、命にあたる光にシャッターを切り続けた作品をたっぷりと展示します。

最終日には、スライドで写真を見ながら落合さんの話を聞き、参加者と交流するスライド&トークを予定しています。ぜひ、お誘い合わせてご参加ください。

小平で映画を見る会 尾川直子

展示作品

「話したい」(1989) 東欧の人々のポートレート

「CORNEREVA」(1992) ルーマニアの山間の村でみつめた命にあたる光

「はじまり—写し続けた日々」(1995)

結婚、出産、別居とめまぐるしく変わる現実の中で自分を支えるようにして撮り続けた

「働くこと」(2001) 働きながら子育てをする38家族の日常をドキュメントする

「絹ばあちゃんと90年の旅—幻の旧満州に生きて」(2005)

伊豆の山中に一人暮らす絹さん、との対話の中で、歴史・個人・今・未来をみつめる

落合由利子 プロフィール

1963年 埼玉県生まれ

1986年 日本大学芸術学部写真学科卒業

1987年 写真スタジオを経てフリーランスフォトグラファーとして独立

1989~90年 ベルリンの壁崩壊直後の東欧諸国に渡り、人々のポートレートを撮る

1991~92年 在ルーマニア

2007年~ 戦争の時代を経て生きてきた方々のポートレートの撮影を始める

現在、『母の友』(福音館書店)に「戦争は知らないけれど」を連載中

写真展

「日本国ルーマニア人物誌」(1997 フォーラム横浜)

「働くこと育てること」(2001 ~横浜女性フォーラムほか全国巡回)

「落合由利子写真展」(2003 滋賀県立水口文化芸術会館) 他

著書

『働くこと育てること』(草土文化)

『感情のABC』(岩川直樹・文 草土文化)

『絹ばあちゃんと90年の旅—幻の旧満州に生きて』(講談社)

